

注意報 注意報

23高虫防第61号

平成23年12月2日

関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第3号を送付します。

平成23年度病虫害発生予察注意報第3号

平成23年12月2日

高知県病虫害防除所

病虫害名 ナス黒枯病 (*Corynespora melongenae* Takimoto)

- 対象作物 ナス(施設栽培)
- 発生地域 県内全域
- 発生時期 11月～
- 発生程度 多
- 注意報発令の根拠
 - 11月下旬の巡回調査では、本県ナス栽培の主産地である県東部で、平年に比べ多発生であった(第1表及び第1図)。
 - 四国地方の今後1ヶ月の気象予報(平成23年11月25日、高松地方气象台発表)では、平年に比べ、気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並～少ないと予想されており、特に12月の前半は気温が高い状態が続くことが予想されている。このため、夜間加温機の稼働時間は少なく、ハウス内が多湿状態になることが予想される。
- 防除対策
 - 耕種的防除
 - 高温、多湿条件で発病が助長されるため、日中の換気の徹底や早朝の加温などハウス内湿度をできるだけ下げようとする。
 - 根傷みや肥料の濃度障害、あるいは着果過多によるいわゆる成り疲れなどは発病を助長する可能性が高いので、施肥その他の栽培管理を適正にし、草勢維持に努める。
 - 薬剤防除

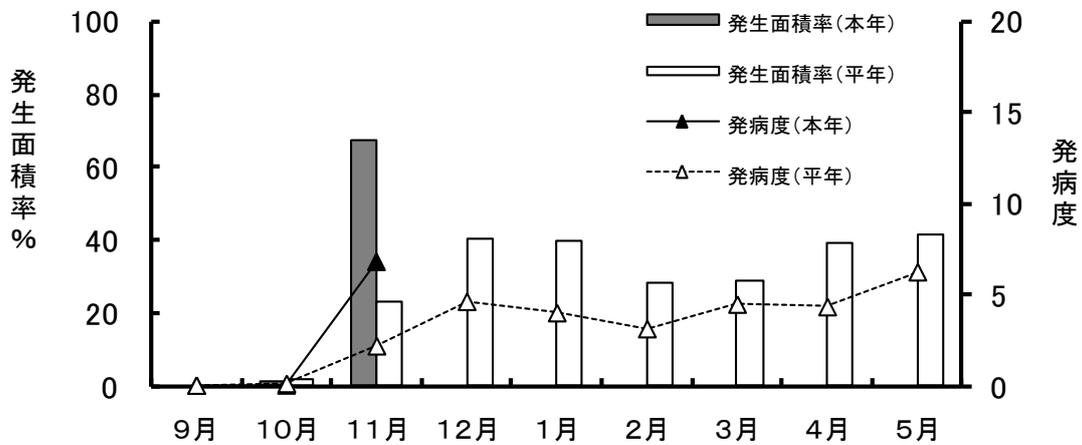
蔓延すると防除が困難になるので、発生初期から防除を行う。また、薬剤耐性の発現を防ぐため、同系統の薬剤を連用することは避ける。

第1表 黒枯病の発生面積

11月下旬調査、単位:ha

	ナス	
	本年	平年
東 部	210.0	48.3
中央部	3.9	0.9
中西部	—	—
西 部	0.0	4.1
合 計	213.9	53.3

栽培面積 ナス:東部274ha、中央部23ha、西部8ha 合計305ha



第1図 県全域のナス黒枯病の発生面積率と発病度(対平年値)

発病度: 発生程度を示す指数 発病度1~20は発生程度が少
21~40は発生程度が中,
41~60は発生程度が多
61~ は発生程度が甚

第2表 1ヶ月の気象予報(11月26日から12月25日までの天候見通し)

要素	地域	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気 温		10%	30%	60%
降水量	四国地方	20%	30%	50%
日照時間		50%	30%	20%

注)平成23年11月25日に高松地方気象台より発表